

授業の履修、認定および進級・卒業の内規

1 授業の履修および科目認定の条件

- (1) すべての授業時間ごとに、学生個人別の出席状況を記録し、授業態度を確認する。また、必要に応じて小テスト等を実施し、学生の理解度を把握する。
- (2) 授業科目ごとの認定条件は、以下の2点である。
 - ① 学科ごとに定められた出席率以上であること
 - ② 定期試験、レポート、出席率、授業態度等を総合的に判断した成績（評価点）が60点以上であること。
- (3) 各学科で定める出席率は、以下の通りとする。（学年毎の基準）

学科	映像音響学科	電気通信工学科	食品生命科学科	建築工学科	建築工学研究科	測量環境工学科	二級自動車工学科	一級自動車工学研究科	ICTライセンス学科	国際情報学科	国際機械工学科	国際自動車工学科	進学準備学科	日本語学科
出席率(学年毎)	70%	70% ※1	70%	70%	70%	100% ※2	90% ※3	90% ※3	60時間以上 ※4	70%	70%	90% ※3	90% ※5	90% ※5

- ※1：電気通信工学科の「第二種電気工事士養成施設」に関わる科目の出席率は100%とする。
- ※2：「測量士補養成施設」に関わる測量専門科目（22科目）以外の科目の出席率は70%とする。
- ※3：実習の出席率は95%以上、「一種自動車整備士養成施設」に関わらない科目の出席率は70%とする。
- ※4：スクーリングの出席：各グレード60時間以上。
- ※5：日本語学科の進級については出席率の条件を定めないが、出席率90%に満たない学生については、退学を勧告する場合がある。また、卒業条件は1年次、2年次のそれぞれの出席率が90%以上であることとする（進学準備学科は通年で90%以上）。なお、該当しない者については期間修了とする。

- (4) 映像音響学科、電気通信工学科、食品生命科学科、建築工学科、測量環境工学科、国際機械工学科、二級自動車工学科、一級自動車工学研究科、国際自動車工学科において行われる企業との連携による授業（実習、演習、インターンシップ等）は、全員が履修するものとする。

2 進級・卒業の認定要件

進級・卒業は、学年ごとに以下の条件をすべて満たした者に対し、進級・卒業判定会議の議決を経て、校長が認定する。

- (1) 学納金
定められた授業料、学生諸費等の学納金が完納されていること。
- (2) 出席率
全科目の平均出席率が、学科で定められた出席率以上であること。
- (3) 成績
全科目に対する認定科目の割合（科目認定率）が、学科で定めた率以上であること。

学科	映像音響学科	電気通信工学科	食品生命科学科	建築工学科	建築工学研究科	測量環境工学科	二級自動車工学科	一級自動車工学研究科	ICTライセンス学科	国際情報学科	国際機械工学科	国際自動車工学科	進学準備学科	日本語学科
科目認定率(学年毎)	85%	85% ※1	85%	100%	85%	100% ※2	85%	85%	※3	85%	85%	85%	100%	100%

- ※1：電気通信工学科の「第二種電気工事士養成施設」に関わる科目は100%とする。
- ※2：「測量士補養成施設」に関わらない科目は85%とする。
- ※3：ICTライセンス学科は単位制学科で、4段階のグレード（A B C D）がある。進級または卒業の認定要件は下表の通りである。

グレード	A	B	C	D
グレードごとの配当単位数	17単位	16単位	16単位	17単位
進級に必要な単位数 A → B C → D	15単位以上		14単位以上	
進級・卒業に必要な単位数 進級 B → C 卒業 D → 卒業	31単位以上		31単位以上	

- (4) 素行
授業態度、生活態度等の素行が良好なこと。

3 客観的な成績指標の算出方法

上記1(2)②のとおり、成績は評価点で評価する。その詳細は以下のとおりとする。

- (1) 科目ごとの成績は評価点を用いて評価し、以下にしたがって決定する評価区分を記録する。

評価点	評価区分
90～100	S (秀)
80～ 89	A (優)
70～ 79	B (良)
60～ 69	C (可)
0～ 59	D (不可)

- (2) 客観的な成績管理には、評価区分ごとに設定するポイント (GPA、Grade Point Average) を用いる。評価区分ごとのポイントは、

「S-A-B-C-D」に対して「5-4-3-2-1」
とする。